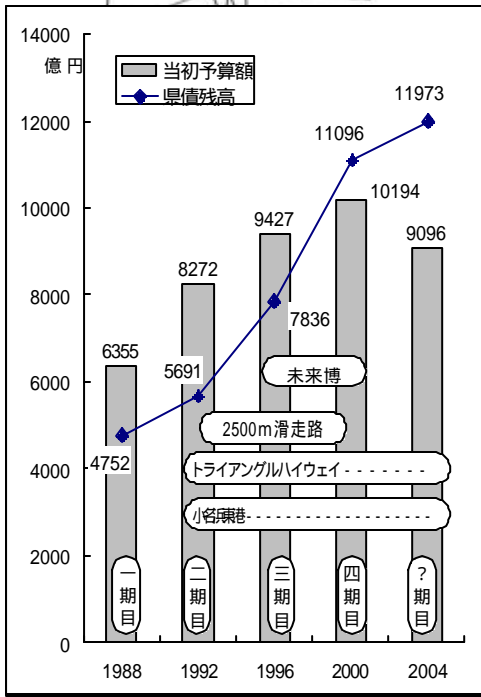


佐藤県政
16年間で
借金2.5倍に

ムダな大型公共事業でつくった借金のツケを 福祉・教育に押しつける冷たい佐藤県政



県立高校授業料

3ヶ月滞納で出席停止処分

県は「授業料3ヶ月滞納すると出席停止処分」にすると各学校に通知しています。平成14年に県が調べた滞納理由でも明らかなように生活苦・営業不振などによって納めたくとも納められない家庭が多数を占めています。県教育委員会の担当者は「単に滞納者が増えているからマニュアルをつくった」と当事者の痛みなどは感じていないようです。

重度心身障害者の補助削減

県は人工透析などの腎臓・心臓病患者を含む重度心身障害者の医療費補助を見直し、補助金を削減して、患者に負担を求めようとしています。

保健福祉部長は、「厳しい予算の中で来年度からは各部への枠配分方式にされ、すべての事業について見直しをせざるを得ない」としています。

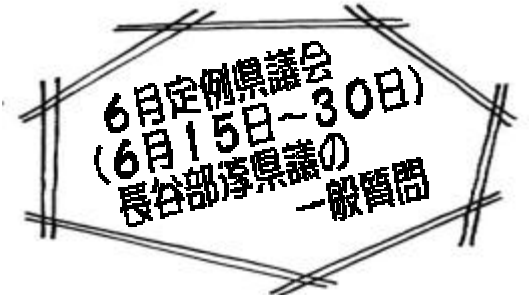
「逆立ち」した県政を変え

県民の暮らし応援の県政を

いずれも県財政が厳しくなっていることを理由としていますが、佐藤知事の16年間で空港滑走路、トラハイ、小名浜人工島など不要不急の大型開発事業をすすめた借金のツケを、弱い立場の県民に押しつけるという「逆立ち」した立場に立っています。

間近に迫った県知事選挙で、県民の暮らしを応援する県政に変えなければなりません。

県民の暮らし応援に財政を使ってこそ 県政の本来の役割を果たすことに



6月23日、一般質問に立った長谷部淳県議は、県民福祉を犠牲にしかねない行財政改革、市町村合併と市町村支援、原発での使用済み核燃料の在り方、警察不正経理などについて質問しました。



一般質問に立つ長谷部県議(6月23日)

「医療、福祉、教育」の予算は聖域に

行財政改革で長谷部県議は、「3大切りすて」(県立病院の地方公営企業法の全部適用、県立社会福祉法人の民間移譲、県立大学の独立行政法人化)推進し、義務的経費以外「聖域なく」マイナスシーリングをかける県財政当局のやり方が県民福祉を犠牲にするものと指摘しました。地方自治体と財政の在り方を論じながら、安易な民営化などで、これまでの浪費県政のツケを県民福祉に押し付けずべきではないと主張しました。

6月定例県議会は、6月15日開会、30日閉会の16日間の会期で開かれました。一般質問は長谷部淳県議が行いました。今議会に提出された議案は17件で、党県議団は県収用委員の選任、県単事業への市町村負担などの3件に反対し、市町村合併に伴う配置分合議案には棄権しました。党県議団が紹介した請願、陳情は5件で、1件が趣旨採択、4件が継続審査となりました。

合併推進の財政シミュレーションを批判

県は今年度から合併する市町村に1億円の財政支援をはじめました。県が市町村に示している財政シミュレーションは、合併しないと市町村財政が破綻する結論となる一方的なものであると批判しました。さらに合併しない市町村への支援を求めました。

「偽名領収証」認める……県警

警察の不正経理について、再々質問の中で偽名領収証の扱いについて質問しました。県警の荒木二郎本部長は、「たとえば暴力団に関する情報をいただいた場合」など「やむを得ない場合、偽名での領収証としていた」と偽名領収証の存在を認めたとうえで、本年度から警察庁の通達に従い、偽名を使わないように指導していると答弁しました。

日本共産党 県議会報告

2004年8月

日本共産党福島県議会議員団

〒960-8065 福島市杉妻町4-16

電話: 024-521-7618 FAX: 024-523-3256

Eメール: jcpfsgk@jcp-fukushima.gr.jp



神山悦子県議

(郡山市選出)

商労文教常任委員

議会運営常任委員



長谷部淳県議

(いわき市選出)

企画環境常任委員

ともに生きる福祉社会
地域医療対策特別委員

日本共産党県議団ホームページをぜひご覧ください

<http://www.jcp-fukushima-pref.jp>



青森県六ヶ所村、福井県高浜などの原子力施設を視察。写真は六ヶ所村（3月31日）



自立をめざして町づくりをすすめる会津の3町村を訪問し首長さんと懇談。写真は西会津町の山口町長さんと（5月6日）



県DVセンターが開設され新婦人のみなさんと訪問。中央は堀所長さん。（4月19日）

現場に足を運ぶ調査活動を積極的に



日本共産党福島県地方議員団のみなさんと市町村国保への県としての財政支援を実現するよう強く要望。30人学級の早期実現、乳幼児医療費社保窓口無料化実現などを各団体とともに対県交渉しました。（5月12日）



6月定例会を前に県民要望を県政に反映させるために申し入れ。（5月27日）

県民の切実な願い届けて



金山町の災害現場。民家に土砂が達しています（7月15日）



JR除草剤の被害調査で葉たばこ畑を視察（7月29日）



災害調査も現場に足を運んで。

高橋ちづ子衆院議員とも連携。



TV討論番組

6月定例県議会の課題を各会派の代表と討論した福島テレビ（FTV）の番組の様。神山悦子県議は討論をリードしました。